

「政策専門家の視点からの評価」

～「非常に大きな政府」と「大きな政府」の争い～

チーム・ポリシーウォッチ

連絡先 岸 博幸（慶應義塾大学教授）

電話 03-3560-1700

メール hkishi@policywatch.jp

政権実績・参院選公約検証大会

主催 新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）

Ⅲ. 参議院選挙に向けた各党公約の検証

1. 民主党の公約に関する総合評価

(1) 総 評 (簡条書き)

判定 30点 / 100点 (①+②+③)

1. 昨年のマニフェストと比べて、マクロ経済運営を重視する姿勢が明確になり、まったく不十分(成長率の目標が10年の平均だけ)ながらも数値目標を明示し、かつ金融政策やサプライサイド政策にも言及していることは評価できる。
2. しかし、マニフェストの内容が昨年と今年でまったくの別物とも言える内容に変節し、その説明責任が果たされていないことは評価できない。昨年はマクロ経済運営の枠組みなきバラマキだったのが、今年は枠組みなき増税/財政再建と正反対である。増税/財政再建+非常に大きな政府という方向性も評価できない。
3. また、間違った経済認識が多い。「第三の道」という抽象的な方向性を冒頭に訴えているが、本来は短期的にケインズ政策を行い中長期には市場メカニズムを重視した供給力強化行なうべきなのに、中長期にケインズ政策を行う一方で短期的には財務省任せで予算を作るようになっている。
4. 自民党のマニフェストにも共通する問題だが、消費税の増税を訴えるならば、団塊世代が後期高齢者となる2025年の段階での消費税の最終的な姿を示すべきではないか。

(2) 要素別評価

① 【形式要件】

判定 5点 / 15点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	昨年のマニフェストに比べて抽象的で数字がなく、信頼度に劣る。「沖縄の負担軽減に全力を尽くします」など、成果目標も主体性もない表現は論外。
----------------------	--

② 【策定手続き】

判定 5点 / 15点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	なぜマニフェストの内容が昨年から大幅に変わったかの説明責任がまったく果たされていない。
----------------------	---

③ 【内容】

判定 20点 / 70点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	経済への認識が間違っている。マクロ経済の運営が見えない。記述された政策の間の整合性もない。郵政など既得権益に配慮し過ぎ。
----------------------	--

別紙 民主党の公約に関する政策分野別評価

評価項目：経済運営

判定20点／100点

	形式要件	内容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	10年間平均の目標しか示されておらず、マクロ経済運営の観点からはまったく不十分。	財政再建をやりながらどのようにマクロ経済運営をしていくかがまったく示されていない。

評価項目：財政運営

判定20点／100点

	形式要件	内容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	経済運営比較して財政運営については目標を細かく明示されており、バランスが悪い。	団塊の世代が後期高齢者になる2025年段階での消費税の最終的な姿が示されていない。

評価項目：行政改革

判定20点／100点

	形式要件	内容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	昨年詳細に示されたムダ削減の目標がすべてなくなっている。	事業仕分けなどを実際に行なって得られた教訓や反省が反映されているとは思えない。

2. 自民党の公約に関する総合評価

(1) 総 評 (箇条書き)

判定 30点 / 100点 (①+②+③)

1. 民主党とは別の意味で非常に出来の悪いマニフェストと言わざるを得ない。3年でデフレ脱却と名目4%成長と示しているのは良いが、あとは官僚から聞きかじったような細かい政策の羅列であり、総花的で何が重点なのか分からず、政権を取り返しても何もしないと言っているに等しい。野党なのだから本来は思い切った政策の重点化をすべきなのに、与党ボケが直っていないのではないか。
2. マクロ経済運営の全体像が不十分な中で消費税増税と財政再建を強く主張し、経済財政運営の全体像が十分に示されていない。また、団塊の世代が後期高齢者となる2025年段階での消費税の最終的な姿は示さず、10%という当面の数字しか示していない。これらの点については、民主党と同様に評価できない。
3. また、総花的に羅列された政策の多くは基本的にバラマキ政策であり、民主党とのバラマキ合戦に乗って結果的に「大きな政府」を志向し、かつ政策全体の整合性、個別のマイクロ政策とマクロ経済運営の整合性がない。

(2) 要素別評価

① 【形式要件】

判定 5点 / 15点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	いわゆるマニフェストの形式要件は満たしているのだけれど、細かい政策を羅列し過ぎ。
----------------------	--

② 【策定手続き】

判定 5点 / 15点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	どのように策定されたのか、どのように民意が反映されたのか不明確。
----------------------	----------------------------------

③ 【内容】

判定 20点 / 70点

評価の理由 (着目点・事実関係等)	マクロ経済運営の内容が不十分。また、細かい政策の多くはバラマキであり、かつ政策全体の整合性もない。
----------------------	---

別紙 自民党の公約に関する政策分野別評価

評価項目：経済運営

判定20点／100点

	形式要件	内 容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	3年で名目4%、デフレ脱却と明示したのは良い。	掲げられた政策だけで本当にできるのか、財政再建をやりながら実現できるのか、とても説得的ではない。

評価項目：財政運営

判定20点／100点

	形式要件	内 容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	経済運営と比べて詳細に書き過ぎており、バランスが悪い。	消費税について、10%という暫定的な数字は示しているが、2025年時点での最終的な姿が示されていない。

評価項目：行政改革

判定30点／100点

	形式要件	内 容
評価の理由 (着目点・ 事実関係等)	目標などは明示されているが、いつまでに達成するのか不明。	民主党よりは現実的だが、それでも個々の政策が全体として実現できるか不明。